

○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（拡充を求めるもの）

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案（・・・第 回総会； 市）		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ^{※注} <input type="checkbox"/> その他（ ）	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	健康福祉部
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	3 災害時等の緊急医療体制の強化のため、モバイルICU（移動型集中治療室）導入助成制度の拡充について		
提案市	松本市		
提案要旨	災害初動時に被災現場において迅速かつ安全に医療スタッフによる必要な処置が行える、モバイルICU（移動型集中治療室）の導入のため、助成制度の拡充を県に要望する。		
提案理由	<p>昨年度は、南木曾町の土砂災害、御嶽山の噴火、神城断層地震などの災害が発生し、県内に甚大な被害をもたらした。</p> <p>本県には、糸魚川―静岡構造線断層帯をはじめ、数多くの活断層が密集する地域があるほか、85%が山地で千曲川等の長流河川が流れており、近年の短時間豪雨の増加などにより従来の想定を超える災害の発生が懸念されている。</p> <p>災害時等の緊急医療活動体制としては、災害拠点病院整備や災害派遣医療チーム（DMAT）の編成、ドクターヘリの運航など様々な対応がなされている。しかし、広範で複雑急峻な地形を持つ本県の状況を考慮すると、夜間や荒天時等においても出動が可能であり、救命のための蘇生措置、簡単な外科手術が行え、簡易な処置ベッドなどを有し、災害初動時に被災現場において迅速かつ安全に医療スタッフによる必要な処置が行える、モバイルICU（移動型集中治療室）の配備は必要なことと考える。</p> <p>モバイルICUについては、25年度までは整備事業の助成制度があり、諏訪赤十字病院で導入されている。しかし、面積の広い県内に複数台数あることが望ましいと思われるが、現行の制度では助成内容に制限があり、導入を促進するため県の助成制度拡充について要望する。</p>		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現況及び課題等</p>	<p>現行の助成制度</p> <p>地域医療介護総合確保金</p> <p>(1) 事業名 医療従事者等の確保・養成のための事業</p> <p>(2) 事業実施主体 医療機関の開設者</p> <p>(3) 補助対象経費 医療従事者の勤務環境改善に資する施設・設備整備に要する経費</p> <p>(4) 補助率等 1 / 3以内</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">関係法令</p>	